

(4) 様式 4\_助成事業実施報告書

2018 年 4 月 1 日

助成事業実施報告書

団体名 わいわいサロン  
代表者・役職名 氏名 茂木 二信

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

みんなのお茶の間「わいわいサロン」

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

高齢化率が高まる中で、家にとじこもらないこと、持てる力を社会に役立てお互いの交流を深めるために、いつでもどこでも集まれる場所を確保し、週6日間交流しています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

近くの住民特に高齢者が自由に集まり楽しむ所が少なくなってきた。介護保険の改正で行き場のなくなった人と体操やサークル活動を始めました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

喫茶(100円コト・お茶)おしゃべりの場として、月から土曜の2時間。サークル活動-囲碁・将棋・カラオケ・体操・歌  
食事会-週一回。他のNPO団体との協力共助

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

支援金を活用し、年々回地域にヒラ5000枚を作り配布しました。参加者が増え、ボランティア活動者も増え長ので、より広く多くの活動ができるようになってきました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

サロン(田地)の川添いに遊歩道ができ、散歩をする人が多くなった。これらの人々の休息の場として、イスなどを設置し、参加者を増やしたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

みんなのお茶の間

# わいわいサロン 喫茶室

開設日時：月曜日～土曜日  
14:00 ⇒ 16:00

場所：八王子市横川町 108  
東京都住宅供給公社  
商店街 8号棟 9



042-625-2935

わいわいサロン

是非お出掛け下さい お待ちしています



キッチン若草  
毎週水曜日  
お食事の提供  
(団地内宅配)

わいわいサロン  
月～土 = 2:00～4:00  
コーヒー・紅茶・緑茶  
¥100円

マンドリン演奏  
第 1.3 火曜日



夕涼み会



こんな活動  
しています

カラオケ  
第 2.4 土曜日  
PM 5:00～7:00



毎週木曜日  
AM10時＝パドル  
PM2時＝健康体操



野菜の直販



バス旅行



囲碁・将棋  
毎週木曜  
お茶代 ¥100円



絵画



や写真



などなど、発表の場としても提供しています  
※空いている時間は、各グループにお貸しします (200円/1時間)